

## 平成30年度「アーカイブ保存修復研修（基礎コース）＋（実技コース）」開催要項

国立女性教育会館では、女性の歴史を今に生かし、未来につないでいくために、女性に関わる原資料（女性アーカイブ）の保存と活用に取り組んでいます。

その活動の一環として、アーカイブの保存や整理について新しい情報をお求めの方や、これから業務にとりくむ方のために、平成21年度からアーカイブ関連の研修を実施しています。

平成30年度は、アーカイブの作成や保存に関する講義・活用報告・実践報告と、参加者によるグループ別の話し合いを行う基礎コース、そして資料の保存修復を実習形式で学んでいただく実技コースを開催します。

女性アーカイブの保存・提供に携わる実務者の方、大学・機関等の図書館職員の方のご参加をお待ちしております。

### 1. 期 日 平成30年11月20日（火）～11月22日（木）

- ① 基礎コース：11月20日（火）午後～11月21日（水）午前 1泊2日
- ② 実技コース：11月21日（水）午後～11月22日（木）午前 1泊2日
- ・ オプション：11月22日（木）午後

- ・ 基礎コースのみ、実技コースのみ、基礎・実技通しての参加、いずれも可能です。
- ・ 基礎コースは1日のみの参加も可能です。
- ・ オプションは全日参加の方を優先とします。
- ・ 研修参加の方は国立女性教育会館に1泊1,200円でご宿泊いただけます。

### 2. 募集人員 女性関連施設職員・地域女性史編纂関係者などアーカイブの保存・提供に携わる実務者の方、大学・機関等の図書館職員の方

- ① 基礎コース：30名
- ② 実技コース：20名
- ・ オプション：20名

### 3. 主 催 独立行政法人国立女性教育会館

### 4. 後 援 株式会社資料保存器材

### 5. 会 場 国立女性教育会館 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地 URL: <https://www.nwec.jp/>

6. 日程・内容

11月20日(火)

<基礎コース 第1日>

12:45~13:00	受付	
13:00~13:10	開会・挨拶	国立女性教育会館理事長 内海房子
	オリエンテーション	
13:10~14:00	アーカイブと著作権 アーカイブに関わる著作権や最新の法改正などについて学びます。	文化庁著作権課 渡辺優加
14:00~14:50	アーカイブ活用報告 女性史研究の立場からのアーカイブ活用事例について学びます。	女性史研究者 永原紀子
15:00~15:50	アーカイブ実践報告 法政大学大原社会問題研究所における実践事例について学びます。	法政大学大原社会問題 研究所教授 榎一江
16:00~17:00	ディスカッション 講師も交えてグループ別にディスカッションを行います。	
17:15~17:45	女性教育情報センター、女性アーカイブセンター見学(希望者のみ)	
19:30~20:30	情報交換会(希望者のみ) 参加者相互の情報交換やネットワークづくりの場を提供します。	

11月21日(水)

<基礎コース 第2日>

9:00~9:55	国立国会図書館資料デジタル化の手引について デジタル化手引2017年版や国立国会図書館の実例を学びます。	国立国会図書館関西館 電子図書館課 村松克洋
9:55~10:50	女性アーカイブセンター10周年 当館女性アーカイブセンターの10年を振り返り、女性アーカイブについて学びます。	国立女性教育会館情報 課客員研究員 青木玲子
11:00~11:55	国立公文書館におけるデジタルアーカイブについて 国立公文書館におけるデジタルアーカイブの実践事例を学びます。	国立公文書館業務課 高杉美里
11:55~12:00	閉会	

11月21日(水)

<実技コース 第1日>

13:15~13:30	受付	
13:30~13:35	開会 オリエンテーション	
13:35~17:00	紙資料の修復関連実習① コンサベーション・バインディングの実習を通して、図書資料の構造を理解し、受講者が補修を行う際に役立つ知識や技術を学びます。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる

## 11月22日(木)

<実技コース 第2日>

9:00~11:00	<b>紙資料の修復関連実習②</b> 1日目の実習の続きを行います。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる
11:00~11:55	<b>質疑応答</b> 実習や日頃の補修作業での疑問や課題について質問する時間を設け、情報共有を図ります。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる
11:55~12:00	<b>閉会</b>	

## 11月22日(木)

<オプション>

15:00~17:00	<b>(株) 資料保存器材見学会</b> 全国から集まるアーカイブ資料の保存修復の作業現場を見学します。	(株) 資料保存器材 伊藤美樹、高田かおる
-------------	---	--------------------------

### 7. 所要経費

- (1) 参加費 ①基礎コース：無料 ②実技コース：材料費 2,000 円  
(2) 宿泊費 1泊 1,200 円 (前・後泊とも同額)  
(3) 食費 朝食 バイキング 870 円  
昼食 カフェテリア形式 550 円~800 円程度  
夕食 バイキング 1,080 円  
(4) 情報交換会費 1,000 円 (希望者のみ。軽い飲食物をご用意します)

### 8. 申込手続

- (1) 方法 下記①または②のいずれかにてお申し込みください。  
①電子メール：ホームページ (<https://www.nwec.jp/event/training/archivist2018.html>)  
掲載の申込書様式に入力のうえファイル添付にて送信  
(必要事項をメール本文に入力のうえ送信しても可)  
②FAX： ホームページ掲載の申込書様式に記入の上送信  
(様式がなければ必要事項を記入した紙でも可)
- (2) 期限 平成 30 年 11 月 12 日 (月)  
定員を超えた場合は、期限前に締め切ることもあります。

### 9. 申込・問い合わせ先

国立女性教育会館情報課 鳴(しぎ)、星野

TEL: 0493-62-6728 FAX: 0493-62-6721 電子メール: infodiv@nwec.jp